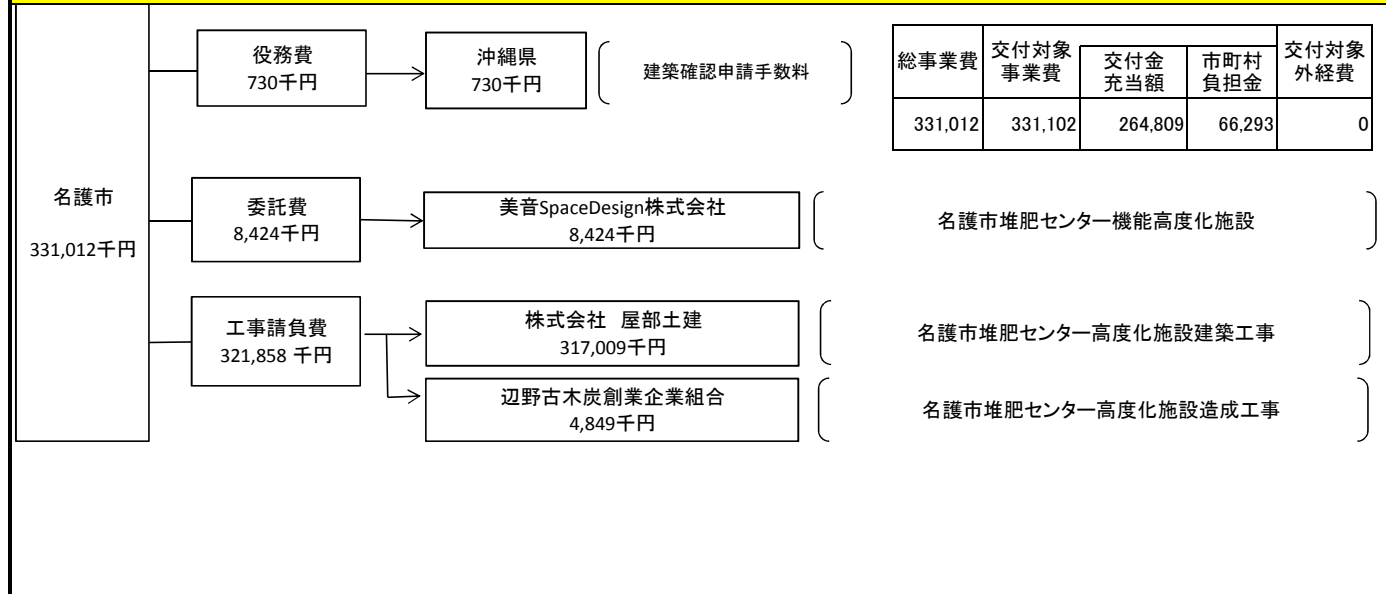


市町村名		名護市					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	名護市堆肥センター機能高度化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	産業部 農政畜産課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	堆肥の活用による田畑の土づくりや、家畜の糞尿処理などの環境保全により、畜産業等と地域との調和を保ち農産物の生産向上に寄与する名護市堆肥センターを整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	40,230	—	361,851	—	
		(b) 予算現額	40,230	—	361,851	—	
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	—	
		(d) 繰越額	—	23,093	—	232,410	
		A. 計 (b+d)	40,230	23,093	361,851	232,410	
	B. 執行済額		17,137	23,077	129,442	201,570	
	うち交付金充当額		13,705	17,173	103,553	161,256	
	次年度繰越額		23,093	—	232,410	—	
	執行率 (%) (B/A)		42.6%	99.9%	35.8%	86.7%	
予算の状況の説明		平成25年度の基本設計において不測の日数がかかったため、平成26年度に繰り越して実施設計、外構設計、地質調査を完了させた。については、造成工事は年度内の執行ができたが、堆肥舎の建築工事は繰り越して実施することとなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	堆肥工場の建築及び造成工事、ならびに備品購入の実施		目標 ( 実施 )	( )	( )	( )	
			実績	実施			
達成状況説明		平成25年度の基本設計業務において不測の日程を要したため、実施設計等を平成26年度に繰り越した。その後に、造成工事及び堆肥舎の建築工事となったため、造成工事は年度内に竣工したが、建築工事は繰り越しを行い、平成27年6月には竣工した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	堆肥工場の整備及び備品購入の完了		目標 ( )	( ①堆肥工場の整備完了 )	( )	( )	( )
			実績	①堆肥工場整備未完了 ②備品購入の完了			
進捗状況説明		目標を平成26年度内での堆肥舎の整備完了としていたが、平成25年度の設計業務の遅れや、天候不良による造成工事が重なり、堆肥舎の建築工事を繰り越して実施することとした。平成27年6月には目標としていた堆肥舎の整備が完了できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>平成26年度は造成工事及び建築工事を実施した。年度内完了に向けて、早期着手に努めたが、前年度の設計業務の繰り越しや、造成工事において天候不順による期間延長があったため、建築工事において繰り越しを行う必要が出た。</p> <p>このような状況において、建築工事の早期着手及び完了に向け、工程会議や連絡調整において、造成工事及び建築工事の両工事間の情報共有を積極的に行ったことにより、建築工事を繰り越しはしたが、平成27年度の早い時期に完了することができた。</p> <p>しかし、これらの遅れに伴い、平成27年度事業の着手が遅れているため、早期完了を目指し、関係機関及び工事請負業者等の調整を密に取りながら、進めていく。</p>	<p>平成27年度には、堆肥センター機能高度化の根幹となるプラント設備工事の実施や、その他設備工事及び建築(袋詰舎)工事が実施される。また、施設内で利用する車両の購入も行っていく。このようにいくつかの業務が同時並行で行われることが想定されるなか、これまで繰り越しによる実施が多い状況を踏まえ、関係者間の調整を密に行うことで、改善が図られる。</p> <p>また、整備完了後は、指定管理者による施設運営を計画しているため、工事と併せて指定管理者選定作業が必要となる。</p>

今後の取り組み方針
<p>上述の検証を踏まえ、各種工事の請負業者等の関係者一堂に会した全体工程会議の実施により、情報共有を密に行い、それぞれが早期に着手・竣工できる環境を整えていく。</p> <p>また、施設完成後の運営も視野に入れ、指定管理者の選定業務を、整備事業と同時並行で行っていく。そうすることで、スムーズな供用開始が期待できる。また、利用予定の農家には事前周知を図ることもまた、スムーズな供用開始につながる。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れの点 検評 価目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本市の委託先選定のプロセスを忠実に実施した上での受託者選定をしており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模は、実際の設計額確定時に確認し、適正であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

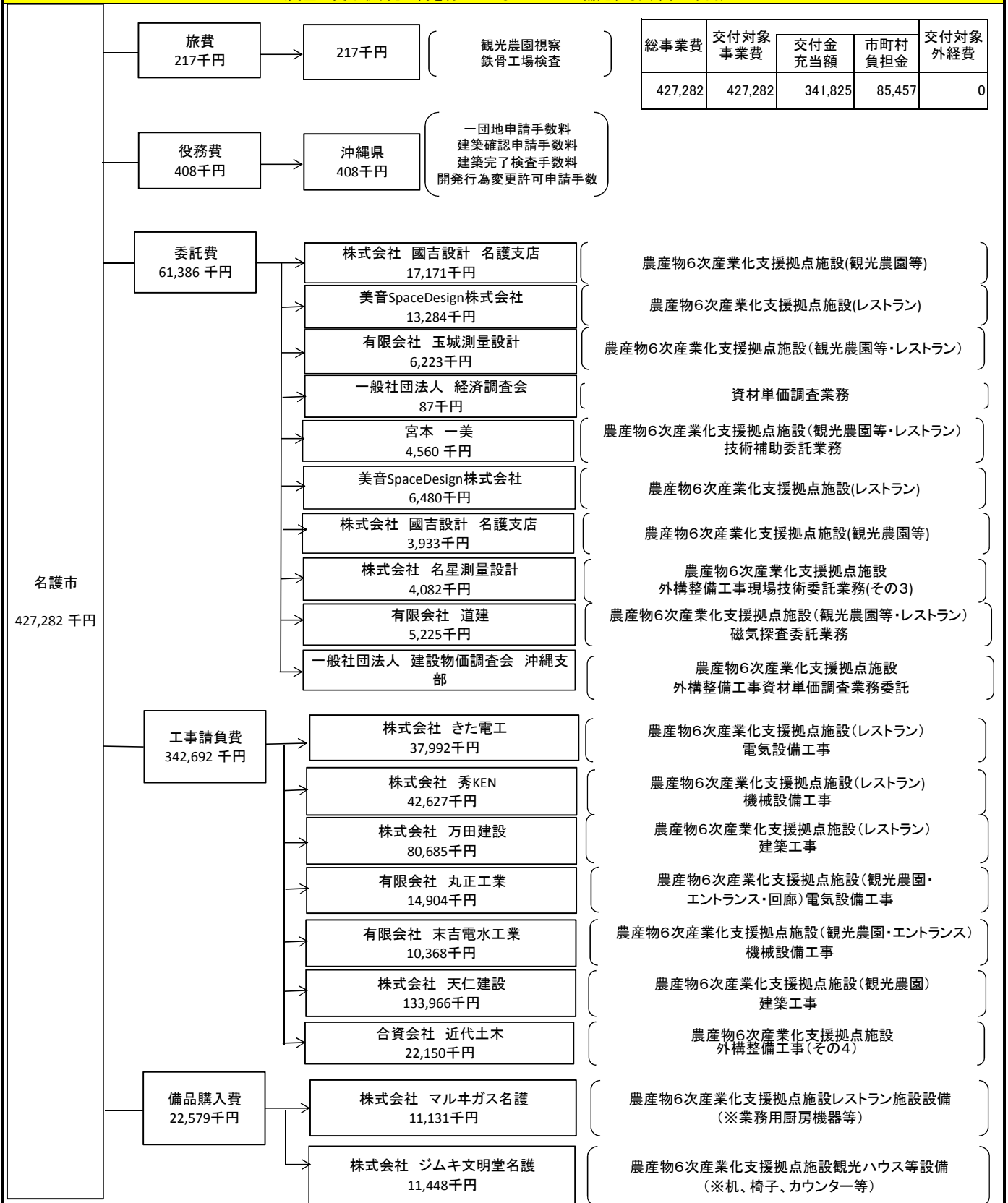
市町村名	名護市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ		
担当部署名	産業部 農政畜産課	事業実施(予定)年度	平成24~26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	フロンティア型農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算状況	(a) 当初予算額	466,264	—	449,225	—	
		(b) 予算現額	466,264	—	479,234	—	
		(c) 増減額(b-a)	0	—	30,009	—	
		(d) 繰越額	—	463,245	—	468,561	
	A. 計(b+d)		466,264	463,245	479,234	468,561	
	B. 執行済額		3,019	358,249	10,673	416,609	
	うち交付金充当額		2,415	286,599	8,538	333,287	
	次年度繰越額		463,245	—	468,561	—	
	執行率(%) (B/A)		0.6%	77.3%	2.2%	88.9%	
予算状況の説明		平成26年度事業の設計業務において、管理者との施設設備内容に関する必要性や汎用性の擦り合わせや、建築確認申請に係る関係機関との調整に時間を要したことから、設計業務の完了が遅れ、平成27年度に繰り越して施設整備等を行った。 なお、観光農園において構造見直しの必要があったことから建築費用の増額になり、観光農園を機能別に施設を分けて整備することにし、その計画変更に伴い、事業の一部中止による執行残が出た。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	レストラン施設・観光農園・エントランス敷地造成設計、建築設計及び建築・造成工事の実施	目標	( ①~③実施 )	( )	( )	( )	
①レストラン施設 ②観光農園 ③エントランス	実績	①③実施、 ②2棟の内、1棟実施					
達成状況説明	平成27年度の繰り越しになったが、レストラン及び観光農園並びにエントランスの設計及び各種工事を終えることができた。しかし、観光農園部分において、沖縄県の指摘により施設構造の変更が必要となり、当初整備予定の1,000㎡の観光ハウスを計画変更し、観光ハウス1棟(500㎡)を整備した。 なお、外構工事においては、一部名護市の負担による整備を行った箇所も含め、完了した。						

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (30年度)	
	レストラン施設・観光農園施設・エントランス整備の完了 ①レストラン施設 ②観光農園施設 ③エントランス整備	目標	( )	( )	①完了 ②完了 ③完了	( )	( )	( )
		実績			①完了 ②2棟の内、1棟完了 ③完了			
	【中期目標】 なごアグリパークの来場者数	目標	( )	( 18,000人 )	( )	( )	( )	( 300,000人 )
実績				3,000人				
進捗状況説明	<p>当初の計画では、レストラン及び観光農園並びにエントランス、外構を完了させる予定で進めていたが、観光農園において、施設構造の見直しにより、予定より半分の面積の観光ハウス1棟のみの建築となった。</p> <p>なお、中間目標は本市周辺にある美ら海水族館の入場者数約300万人、古宇利島60万人の周遊客から勘案し、平成28年度のオープン(一部整備中の箇所あり)から3年後の平成30年度の来場者数を30万人として設定した。これまでの一部供用開始(加工支援施設及びショップ施設)時点では少ない来場者数であったが、これからレストラン及び観光農園もオープンし機能が充実していくので、目標達成に向けた取り組みを進めていく。</p> <p>※平成26年度実績は、同年6月から一部供用開始した加工支援施設のみの実績</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本年度においても、管理者との整備内容のすり合わせ、建築確認申請等の申請等、設計業務において不測の時間がかかった。</p> <p>このような状況において、工事の際には各工事における工程会議や連絡調整を密に行い、さらに各工事間の情報共有を積極的に行ったことにより、各種業務を完了することができた。</p> <p>しかし、観光農園部分が、展示・鑑賞及び体験ゾーンの一部のみの整備となっており、残りの生産・販売ゾーンの整備を完了させないと、なごアグリパークとしての機能が補完されない。</p> <p>また、施設の立地上、幹線道路から奥まった場所にあるため、誘客について課題が残っている。</p> <p>最後に、一部供用開始の運営では、来場者が目標に遠く及ばなかったことから、誘客について、さまざまな取り組みが必要。</p>	<p>事業関係者との内容調整について、当該業務に直接的に関連する部分を優先的に検討し、実施設計へ反映させる必要があった。また、各種業務における不測の事態に関しては、後に控える業務への影響が最少となるよう配慮が必要である。</p> <p>今後控える観光ハウス2棟目の整備において、生産・販売ゾーンを整備し、市内農家が生産する沖縄島野菜やハーブの苗や資材の販売、生産作物の販売等を行うことで、農家の経営安定につながる。</p> <p>また、それを利用する農家や購買者などの来場者が分かりやすいように、施設周辺、または市内各所において、看板の設置等やプロモーションを関係機関に協力を仰いでいくことで、利用者が増加していくことで、中間目標の達成につながる。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>今後の事業執行において、事業関係者との調整は、直接業務と関連する部分に絞った内容を優先的に進め、遅滞なく業務を進行させる。また、各種業務の不測の事態に対しては、最終工程となる工事等において、弾力を持たせた工期を設定することで対応可能となるよう計画したい。</p> <p>また、平成28年度には、残りの観光ハウスを整備することで、なごアグリパークの全機能が補完され、さまざまな形で6次産業化を支援できる施設になることから、早期の整備に努める。</p> <p>今後の中期目標達成のために、これまでにも行っていたHPやパンフレットの充実や、パンフレットについては設置場所を市内のみならず市外にも拡大していきたい。これからも指定管理者である沖縄美ら島財団の誘客に係るノウハウを最大限活用するとともに、名護市としても農業イベントの開催など誘客に取り組む。また、本施設を活用した6次産業化に係る相談窓口の設置など農業振興に係る施策の充実を図っていくことで利用者の増加につなげていく。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○ショップ施設は、他施設も含めた施設全体を安全に管理するためのスペースや機器を有するため、その内容を欠くことなく建築工事に反映させるため、工事監理委託業務は、設計業務を担当した業者と随意契約を締結した。それ以外の業者選定は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、設計額確定時に確認し、適正であったと考えている。
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途に関して、いずれも事業目的達成のために必須であり、適正であったと考えている。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・使途の点検評価

市町村名		名護市									
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-④	真喜屋運動広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ					
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24~27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)					
事業内容	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度		25年度(繰越)		26年度		26年度(繰越)		27年度	
		(a) 当初予算額	13,611	-	13,083	27,908	-	33,388	-	33,388	
		(b) 予算現額	15,487	-	13,083	33,388	-	33,388	-	33,388	
		(c) 増減額(b-a)	1,876	-	13,083	5,480	-	33,388	-	33,388	
		(d) 繰越額	-	-	13,083	-	-	33,388	-	33,388	
		A. 計(b+d)	15,487	-	13,083	33,388	-	33,388	-	33,388	
		B. 執行済額	2,403	-	11,566	0	-	24,160	-	24,160	
		うち交付金充当額	1,922	-	9,253	0	-	19,328	-	19,328	
		次年度繰越額	13,083	-	13,083	33,388	-	33,388	-	33,388	
		執行率(%) (B/A)	15.5%	-	88.4%	0.0%	-	72.4%	-	72.4%	
予算の状況の説明		拡張用地取得に係る関係機関との調整に不測の日数を要したため実施設計の年度内実施が困難となり、又用地取得に必要な測量業務を実施するため333,88千円をH27年度に繰越した。 不用額が生じているが、当初予定していた磁気探査業務を工事施工区域一面の掘削時に実施することが有効と判断し未実施としたこと及び入札残によるものである。									
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況								
			24年度	25年度	26年度	27年度					
	真喜屋運動広場整備に係る実施設計の実施(真喜屋運動広場)		目標 (基本設計実施)	(測量及び造成工事実施)	(実施設計実施)	( )					
		実績	基本設計実施	測量及び造成工事実施	実施設計実施						
達成状況説明		真喜屋運動広場整備に係る拡張用地について、関係機関との調整に不測の日数を要したため、実施設計の着手時期が遅れH27年度に繰越し、実施設計を実施した。当初設定した活動目標については達成することができた。									
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)				
			目標 ( )	(基本設計完了)	(測量及び造成工事実施)	(実施設計完了)	(供用開始)				
	真喜屋運動広場整備に係る実施設計完了		実績	基本設計完了	測量及び造成工事実施	実施設計完了					
進捗状況説明		真喜屋運動広場整備に係る拡張用地について、関係機関との調整に不測の日数を要したため、実施設計の着手時期が遅れH27年度に繰越し、実施設計を完了した。 現在、拡張用地の取得についても関係機関との調整が整い、購入手続を進めているところであり、今後は工事の着手に向けて取り組みを進めていく。									

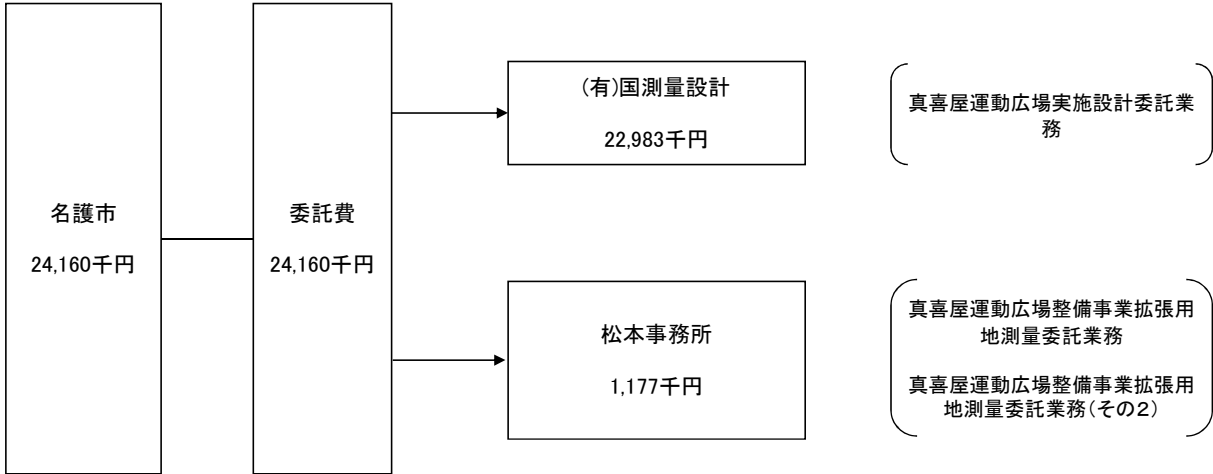
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	用地取得に係る調整及び手続等に不測の日数を要し、実施設計の着手が計画よりも遅れることとなったため、H27年度に繰り越して実施設計を実施した。拡張用地の取得の目処がたったことから、今後、真喜屋運動広場整備工事を実施予定であるが、以下の課題がある。 ①都市計画法に基づく開発行為許可申請手続。 ②保安林の解除申請手続。	実施設計の着手時期が遅れたため事業計画に遅れが生じているが、今後は、工事の着手に向けて、関係機関と調整を密に図り、許認可手続を円滑に進め進捗を図っていく。

**今後の取り組み方針**

平成28年度に整備工事を予定しており、①都市計画法に基づく開発行為許可申請手続、②保安林の解除申請手続などの課題を克服するため、関係機関との調整を図りながら手続を円滑に実施し事業推進に取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
24,160	24,160	19,328	4,832	



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○基本的に指名競争入札方式により業者を適正に選定しており、随意契約についても、契約規則に基づき契約を行っているため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については入札残による不用額が生じているが、事業内容に適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成のために必要であり、適正であったと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		名護市					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	名護市営市場機能強化整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ		
担当部署名	名護市産業部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光施設としての機能を強化することにより、名護中心市街地の「にぎわい」回復に資するため、イベント対応天幕、周辺商店街への連絡通路、大型モニター等の整備を実施し、市営市場及び観光施策が抱える課題の解決を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	
	予算状況	(a)当初予算額	5,492	57,760	-		
		(b)予算現額	5,492	51,099	-		
		(c)増減額(b-a)	0	▲6,661	-		
		(d)繰越額	-	-	46,653		
	A.計(b+d)		5,492	51,099	46,653		
	B.執行済額		5,066	10,385	40,714		
	うち交付金充当額		4,053	8,308	35,292		
	次年度繰越額		-	46,653	-		
	執行率(%) (B/A)		92.2%	20.3%	87.3%		
予算状況の説明		本工事の建築確認申請、関係機関との調整のため不測の日数が生じ、事業が遅延したため、工事費等を27年度に繰越した。(平成26年度は大型ディスプレイの購入のみを実施) 平成27年度に平成26年度繰越事業として、整備工事を実施した。施設の機能強化(パティオ屋根等)との一体性を高めるため、植栽等の整備を計画していた。当初、前広場の雨よけについても実施予定していたが、パティオ屋根の整備を行う上で、不要であると判断し、未実施している。また、広場屋根等竣工後に、植栽等を予定していたが、パティオ屋根等の建築確認、関係機関との調整に時間を要し、広場屋根の竣工が3月と遅れ、植栽等の整備が困難となったため、不額5,814千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	整備工事(1件)の実施 ①雨よけ通路 ②パティオ屋根 ③前広場雨よけ ④植栽等	目標	( )	( )	( )	( )	
実績		①実施 ②実施 ③未実施 ④未実施					
達成状況説明	平成26年度にディスプレイの設置を実施し、平成27年度に平成26年度繰越事業として、整備工事を実施した。雨よけ通路およびパティオ屋根の設置については完了し、市場機能の強化になっている。また、パティオ屋根の整備に伴い、前広場の雨よけについても検討した結果、パティオ屋根があるため広場雨よけについては不要であると判断し、未実施としている。また、植栽については、パティオ屋根等と一体性を図る必要があるため、実施期間の都合において整備することができなかった。しかしながら今後、独自で検討をしていく予定である。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	整備工事(1件)の完了 ①雨よけ通路の設置 ②パティオ屋根の設置 ③前広場雨よけの設置 ④植栽の実施等	目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績			①完了 ②完了 ③未完了 ④未完了				
進捗状況説明	平成26年度には、大型ディスプレイを設置し観光情報等を発信する機能の強化に努めた。しかしながら、パティオ屋根等の建築確認申請、関係機関との調整のため不測の日数が生じ、事業が遅延したため、工事費等を27年度に繰越した。平成27年度においては、雨よけ通路およびパティオ屋根の設置が完了し、市場機能の強化になっている。前広場雨よけについては、パティオ屋根の整備に伴い、不要であるため判断し未実施したほか、植栽の実施については、パティオ屋根の実施期間の都合において整備することができなかったが、今後、独自で検討をしていく予定である。						



取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市において、中心市街地活性化基本計画に基づき、市街地の活性化を推進している状況であり、大型モニターの設置およびパティオ屋根の設置等を実施した。</p> <p>当初、同整備において、工事に掛かるまでの建築確認申請に時間を要し、繰越を行った。</p> <p>また、植栽の実施も予定していたが、予算および実施期間の都合により整備をすることが出来なかった。</p>	<p>当初計画より、工事に掛かるまでの建築確認申請が大幅に送れてしまい、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。</p> <p>また、今回の事業ではハード面を整備したので、同施設が十分に活用できるようソフト面(集客するイベントの開催、観光情報発信、市場としての魅力発信)の強化に努める。</p>

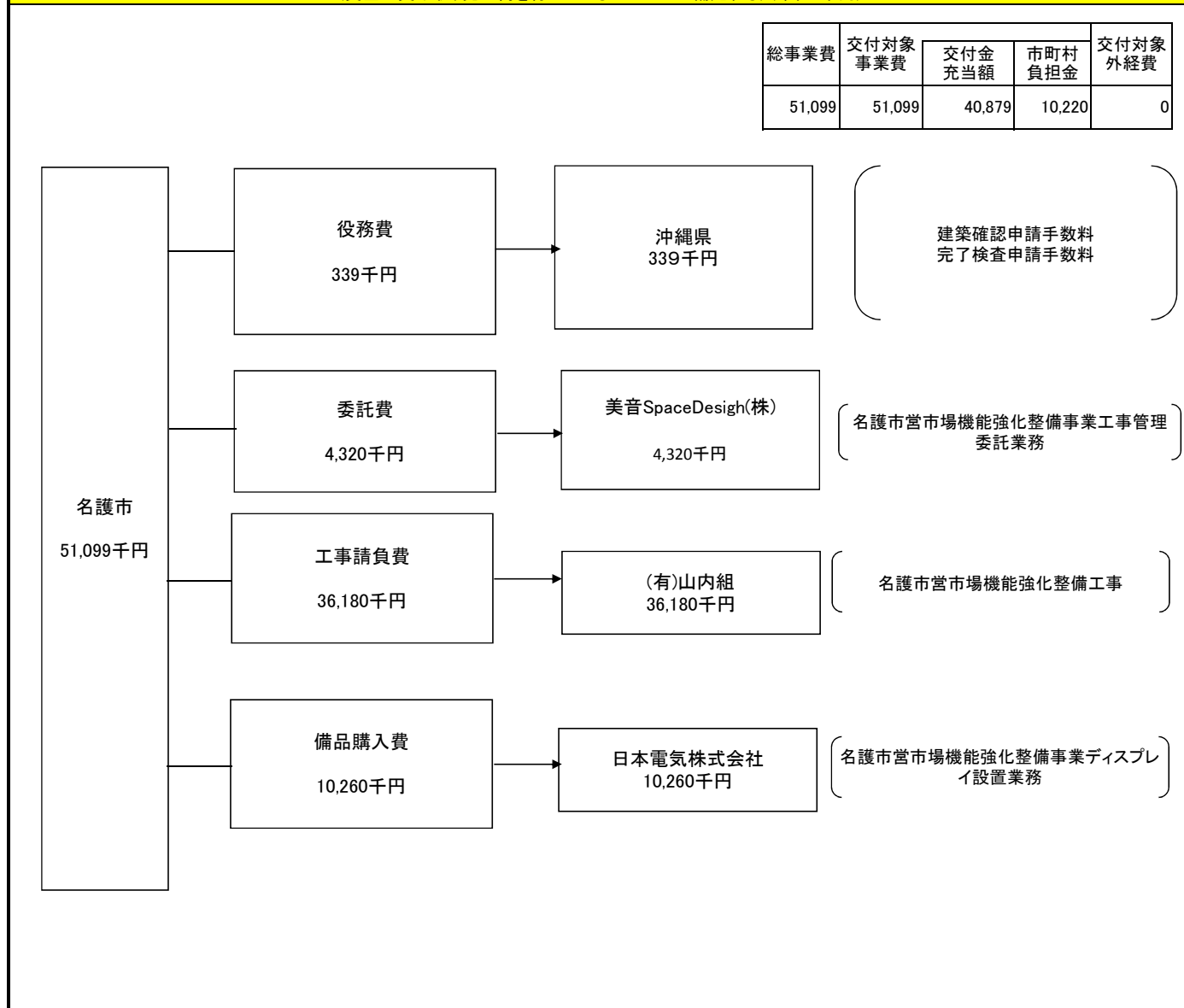
**今後の取り組み方針**

市民が主体となった市場でのイベントについても年々、増加しており、駐車場の利用台数も平成25年度は87千台であったが、平成27年度末においては年間113千台になるなど、今回の事業の終了に伴い、にぎわいが少しづつ出てきている状況である。

今後は、更なる賑わい創出のため、指定管理者および市場テナント会等と連携を図りながら、市街地活性化の推進を図っていく。また、今回の事業では実施の出来なかった植栽については、市場の状況を勘案しながら検討を図っていく。

更に、名護市営市場の更なるPRのため、現在、市場HPのリニューアルを検討しており、更なる情報発信を行いながら、観光客の集客にに向けた取組も強化する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事請負の業者選定は指名競争入札、備品購入については、企画公募型により業者を選定しているため、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模については不用額は5,939千円であり、改善を要する必要があると考えている。</p> <p>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

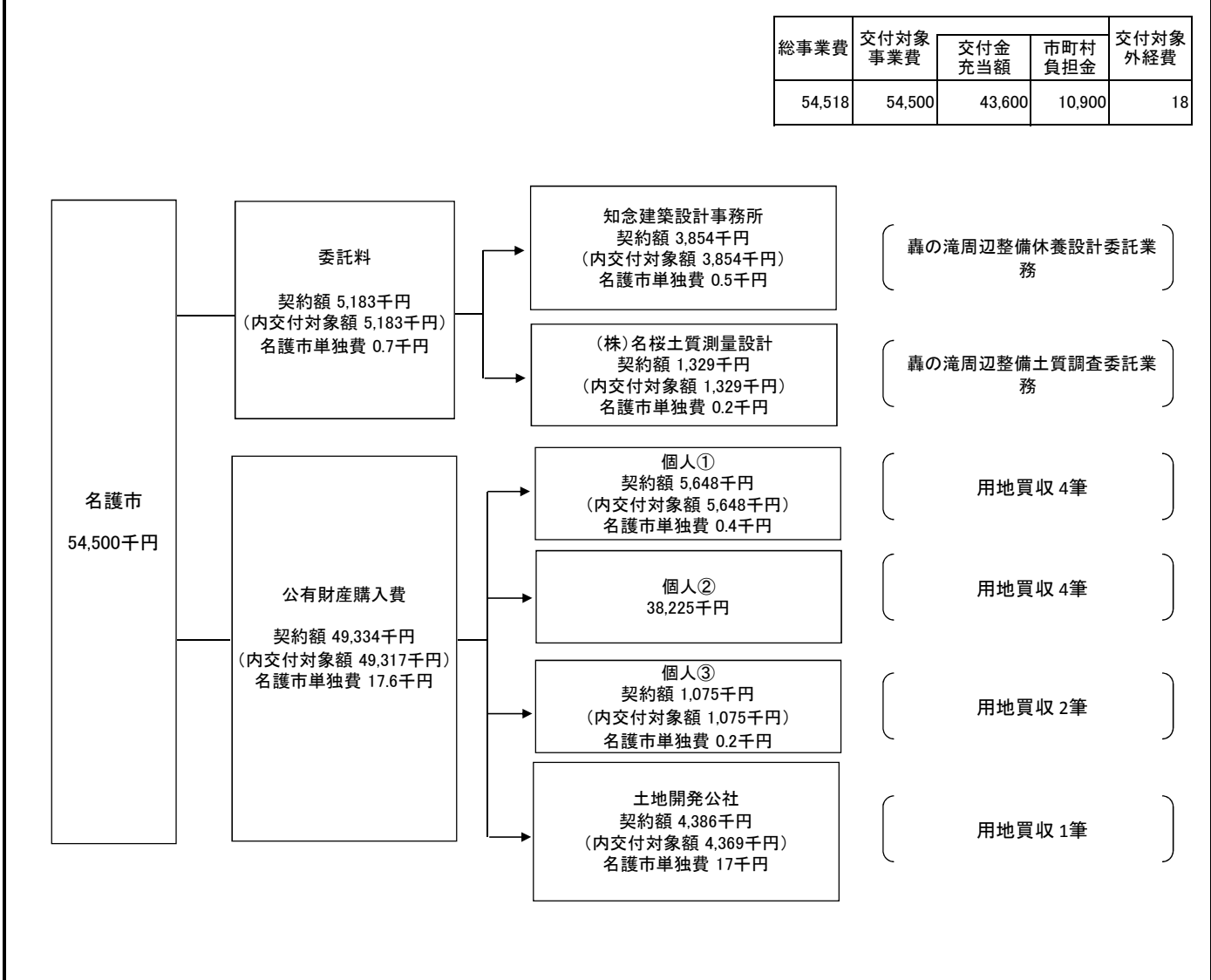
市町村名		名護市										
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	3-⑨ 轟の滝周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ							
	担当部署名	建設部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成24~28年度							
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)							
事業内容												
貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げるため、やすらぎと潤いのある自然空間の実現に向けて整備する。												
実施方法												
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度		25年度(繰越)		26年度		26年度(繰越)		27年度		
		(a) 当初予算額	54,510	—	54,500	—						
		(b) 予算現額	54,510	—	54,518	—						
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	18	—						
		(d) 繰越額	—	54,069	—	4,370						
		A. 計 (b+d)	54,510	54,069	54,518	4,370						
		B. 執行済額	441	54,059	50,131	4,369						
		うち交付金充当額	352	43,248	40,104	3,496						
		次年度繰越額	54,069	—	4,370	—						
		執行率 (%) (B/A)	0.8%	100.0%	92.0%	100.0%						
予算の状況の説明		当該整備に必要な用地買収において、対象地権者との用地交渉が難航し不測の日数を費やしたために繰越を行うこととなったが、事業は適正に執行された。										
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況									
			26年度		27年度		28年度		29年度			
	①用地買収 9筆 ②物件補償 1件 ③委託業務(施設設計) 1件		目標	( ) ( ) ①用地買収 9筆 ②物件補償 1件 ③委託業務(施設設計) 1件	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )		
			実績	①用地買収 11筆 ②物件補償 未実施 ③委託業務(施設設計) 1件								
達成状況説明		活動目標の用地買収及び委託業務(施設設計)の実施について完了した。物件補償については、対象地権者に係る補償対象物件がなく、未実施(不要)となり、その減額分を用地買収に充てた。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)		26年度		27年度		28年度		目標値(年度)	
			目標	( ) ( )	累計 88%取得 7,113m2取得	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	整備に必要な用地取得:(累計:88%) (累計:7,113m2取得)		実績	/	累計 97%取得 7,837m2取得							
			目標	( ) ( )	(完了)	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	施設設計の完了		実績	/	完了							
進捗状況説明		整備に必要な用地取得に関して、取得面積累計88%(7,113m2)から97%(7,837m2)と実績値を伸ばし、設定目標を達成することができた。施設設計を完了し、設定目標を達成することができた。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	整備に必要な用地取得面積について、設定目標を達成し事業の進捗を図ることができたが、一部地権者の用地買収が未実施である。また、当該事業内容の実現を図るための周辺整備が未実施である。	引き続き用地買収の実施に向け積極的に用地交渉を進めるとともに、用地取得が完了した箇所より、工事内容、施工区域、施工期間等を総合的に勘案し、名勝地轟の滝を魅力的な観光施設にするため、効果的な周辺整備の実現を図る。

**今後の取り組み方針**

次年度より整備工事が主となり、平成27年度は遊歩道の一部及び法面対策工、平成28年度は滝周辺の遊歩道、東屋、親水広場の護岸整備等、平成29年度はイベント広場、駐車場、管理棟等の整備を実施していく。事業実施に際しては、関係機関と綿密に調整を図り、名勝地轟の滝における法規制の許可行為を遵守するとともに安全管理を徹底し、円滑な事業実施に努める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・費目の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により適正に選定及び執行された。 ○予算規模は事業の活動内容に応じた基準(積算基準、損失補償基準等)により額が算出され、適正であった。 ○費目・用途については、事業の活動内容に即し限定されているか、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	